

公益財団法人世界緑茶協会
令和2年度事業報告

茶を楽しみ、その文化、歴史に触れ、茶の魅力を実感できる「茶の都しずおか」づくりの一翼を担い、世界の茶文化やお茶を楽しむ新しいスタイルを提案する事業の実施を通じ、茶のある豊かな生活の実現に寄与した。

また、静岡県及び関係団体と連携して日本茶・静岡茶の海外への普及や輸出の促進を図った。

さらに、茶業界の枠を超えた多様なメンバーから成る「ChaOI フォーラム」において、オープンイノベーションの手法による新たな茶の需要創出と生産構造の転換を支援した。

1 茶文化に関する講座及び体験事業（公益目的事業1）

（1）茶文化セミナー等の開催

山東省貿易促進会の要請を受けて「日中茶文化オンライン交流商談会」を共催するとともに、Youtube を活用した動画配信やオンライン茶体験講座の開催など、お茶を楽しむ機会の創出を図った。

区分	時期・場所	内容	人数
日中（山東省）茶文化オンライン交流商談会	令和2年9月10日 しずおかO-CHA プラザ （静岡市駿河区南町）	日中双方から茶産業の概況について報告するとともに、県内企業13社、山東省企業4社を紹介し交流を図った。	85人
Youtube を活用した動画配信	令和3年1月5日 ～3月31日 しずおかO-CHA プラザ （静岡市駿河区南町）	若い世代の緑茶ファンを増やすため「世界緑茶協会動画チャンネル」の配信を開始した。	延べ609回視聴
オンライン茶体験講座	令和3年2月19日、22日 しずおかO-CHA プラザ （静岡市駿河区南町）	「お茶の基本と簡単アレンジティー」 内容・静岡のお茶について ・お茶の淹れ方 ・ほうじ茶のハーブジャージャーティー	20人

（2）情報誌「緑茶通信」等の発行

緑茶に関する幅広い情報を発信するため、情報誌「緑茶通信」を発行した。

発行	内容	発行部数
令和2年 9月 47号	○特集：持続可能な社会のためにできること ・食品産業とSDGs～グローバル化とCOVID-19～ ・お茶で人と社会と環境の健康（サステナビリティ）に貢献する健康創造企業を目指して ・SDGsと世界農業遺産～農村振興の視点から～ ・生活者のサステナブル意識と買い物行動 ○特別寄稿	1,000部

	・アメリカに渡った「江戸ウーロン茶」 ○連載記事 ・茶業研究最前線「京都府農林水産技術センター茶業研究所」 ・茶関連施設紹介「松永記念館（神奈川県小田原市）」 ・全国の茶産地から「島田市緑茶化計画」ただいま進行中 ・世界茶事情「ブラジルのお茶の歴史」 ・世界緑茶協会レポート ほか	
令和3年 3月 48号	○特集：茶と酒の不思議な関係 ・製茶法の変遷と飲み方の盛衰に学ぶ ・お茶とお酒の競演画 ・道教における酩酊と覚醒 ・進化する、茶と酒の関係性 ○特別寄稿 ・天目茶碗の美をたどる ―近年の「曜変」新知見まで― ○連載記事 ・茶業研究最前線「台湾行政院農業委員会茶業改良場」 ・茶関連施設紹介「宗円交遊庵やんたん」 ・全国の茶産地から「鹿児島県霧島茶」 ・世界茶事情「トルコの茶」 ・ふじのくに茶の都ミュージアム便り ・世界緑茶協会レポート ほか	1,000部

（３）静岡茶体験コーナーの運営

茶文化の普及や茶の消費拡大を図るため、「しずおか 0-CHA プラザ」の静岡茶体験コーナーを運営し、お茶の楽しみ方を提案する講座等を実施した。（一部静岡県委託）。

ア しずおか 0-CHA プラザの運営

施設規模	水の森ビル 3階 67 m ² 8席
開場時間	月曜～金曜（祝日、年末年始を除く）午前9時30分～午後4時30分
運営内容	茶関連書籍・資料の収集・閲覧、茶関連展示（県内茶産地の企画展示、世界緑茶コンテスト入賞茶等）、静岡県内産茶を使った淹れ方体験指導、体験講座の企画・運営

イ 静岡茶体験講座の企画運営

- ・体験講座開催実績

テーマ	開催時期	回数
新茶と過ごす豊かなひととき	6月10日～6月30日	8回
暑い季節を乗り切ろう、冷茶の魅力	7月10日～7月30日	8回
香りの不思議 多彩なお茶を知る	8月14日～9月8日	8回
普通煎茶と深蒸し煎茶 それぞれの魅力再発見！	9月17日～10月7日	8回
心も温まる 発酵茶の世界！	10月20日～11月10日	8回
ふじのくに山のお茶 100選	1月7日～1月13日	4回

オンライン講座「お茶の基本と簡単アレンジティー」※再掲	2月19日～2月22日	4回
計	7テーマ	48回

・学校、企業等を対象とした講座開催実績

学校・企業等の名称	開催回数
静岡県立静岡商業高等学校、静岡北特別支援学校南の丘分校、静岡県立藤枝特別支援学校、静岡県職員、トヨタ I&F 静岡株式会社等	計 6 回

2 世界の茶に関する情報の集積及び発信（公益目的事業2）

（1）日本茶の輸出促進

ア 国際的な見本市への参加

国際的な食品見本市へ参加し、日本茶の特徴と淹れ方、機能性等を紹介するとともに、販路拡大のための新規需要層の開拓と製茶業者の支援を行った。

名 称	Foodex Japan 2021
開催日	令和3年3月9、10、11、12日
開催場所	幕張メッセ

イ 日本茶輸出促進のための研修、人材育成

海外の茶販売業者等を対象に、静岡茶の魅力を生産現場で学ぶ研修プログラム“Shizuoka Tea Study Program”を製茶業者等と連携してオンライン形式で実施した。

実施時期・期間	研修受入先	研修受講者	内容
令和3年 1月26日 2月3日	製茶業者（3社） 茶農家（1戸）	米国、カナダ、イタリア、スイス、フランス、ハンガリー、バーレーン、ドイツ、イギリス 計9か国・15人	・静岡茶の栽培、荒茶加工、仕上げ加工研修 ・茶品質評価法研修 ・お茶の産業、歴史、文化、機能性説明 ・日本茶の淹れ方

（2）世界への情報集積・発信

ア 世界とのネットワーク形成

茶の輸出入については、国際的な枠組みで規格や基準の制定が進められている。これらに関連して農林水産省が設置した国際規格への国内審議委員会に参画するとともに、各種国際機関や海外の茶関係団体等と連携して情報収集を図った。

区 分	内 容
茶に関する国際機関等での情報収集	・ ITC（国際茶委員会）及び FAO-IGG on Tea（国連世界食糧農業機関「茶に関する政府間グループ会議」）における茶の輸出入の規制や生産、貿易に関する情報の収集、国際的課題の調査。 ・ ISO（国際標準化機構）TC34/SC8（食品部会/茶専門分科会）における日本（農水省）の国内審議団体への参画、意見調整、ISO 事務局への投票業務。
各国の茶関連団体との交流、情報交換	茶に関連する海外の団体（全米茶協会、カナダ茶・ハーブ協会等）や個人を対象に特別会員制度を設け、情報収集と発信を行った。 ＜海外特別会員の状況（令和3年3月）＞ 18 か国・地域、29 者・団体： 中国 2、韓国 2、台湾 4、米国 5、英国 2、イタリア 2、カナダ、ドイツ、ロシア、スイス、アルゼンチン、コロンビア、ブラジル、シンガポール、ネパール、マレーシア、UAE、バーレーン 各 1

イ 0-CHA ネット、会員制情報共有サイトを活用した情報集積と発信

公式ウェブサイト「0-CHA ネット」や、ソーシャルネットワーキングサービス（Facebook）等を活用し、情報発信を図った。

媒 体	・ 公式ホームページ「0-CHA ネット」（日英） ・ 賛助会員向けメールマガジン ：計 16 回発行 ・ Facebook（多言語発信） ：情報提供 57 件
内 容	・ 日本茶に関する基礎知識、専門知識 ・ 茶の機能・効能に関する研究成果情報 ・ 国内外の茶に関するニュースや生産・消費等の状況 ・ 国際見本市や輸出関連展示会等に関する情報 ・ 協会やその他関連団体が開催する茶関連イベント、行事に関する情報

（３）世界緑茶コンテストの開催

ア 世界緑茶コンテスト 2020 の開催

新しいコンセプトを持ち、創造性に満ちた魅力あるお茶の商品を提案するコンテストを開催した。

募集期間	令和2年4月～6月30日
審査会	令和2年8月19～20日 ふじのくに茶の都ミュージアム（島田市金谷）
出品点数	日本 49 点、海外 48 点 計 97 点
審査結果	最高金賞 15 点、金賞 26 点、パッケージ大賞 1 点、フロンティア賞 1 点、特別賞 1 点

展示紹介等	・Foodex Japan 2021（幕張メッセ、令和3年3月9日～12日） ・公式サイト「O-CHA ネット」に掲載、しずおか O-CHA プラザ展示等
-------	--

（４）O-CHAパイオニア顕彰

茶にかかわる学術研究や産業技術、国際交流等の優れた成果について、6件の取組を顕彰した。

募集期間	令和2年10月～令和3年1月7日
選考委員会	令和3年2月10日

＜受賞者・団体＞

部門	受賞者・団体	受賞タイトル
学術研究大賞	水上裕造(国立研究開発法人農研機構)	におい嗅ぎガスクロマトグラフを用いた茶の香りの解明
産業技術・商品開発大賞	静岡県農林技術研究所茶業研究センター、カワサキ機工株式会社、静岡製機株式会社	煎茶・紅茶・てん茶(抹茶)「近赤外成分分析計」の開発と普及
O-CHA 特別大賞	杵塚敏明(人と農・自然をつなぐ会／会長)	無農薬茶栽培のパイオニアおよび有機農業普及活動
O-CHA 特別大賞	Katharine Burnett, PhD (カリフォルニア大学デービス校／教授)	世界のお茶を学際的に研究するグループ「Global Tea Initiative」の創設者
CHALLENGE 賞	鷲巣恭一郎(お茶染め Washizu.／代表)	静岡のお茶と伝統工芸(駿河和染)の融合による新しいお茶染め産業の創出
CHALLENGE 賞	株式会社荒畑園(代表取締役／荒畑賀範)	お茶の可能性を拓ける商品開発

（５）Cha0I フォーラム運営支援

静岡茶の新たな価値の創造を目指して、茶業界の枠を超えた幅広い技術・アイデアを活用した新たな需要創出のための相談・助言、マッチング等の支援をおこなった。
(静岡県委託事業)

項 目	概 要
Cha0I フォーラム事務局窓口の体制整備	茶及び関連産業分野における専門家等 5 名を任用し、静岡県茶業研究センター内に開設したフォーラム事務局窓口に常時駐在する体制を整備した。 (コーディネーター3 名及び事務職員 2 名の 5 名体制)
会員の状況	茶生産者、茶商、メーカー、食品事業者等 416 会員 (令和 3 月 17 日現在)
相談・助言、マッチング等の支援状況	・相談件数 延べ 483 件(令和 2 年 5 月～3 年 3 月) ・分科会等開催 4 回 参加者数 144 人 ・Cha0I プロジェクト推進事業採択件数 32 件

3 ウェブサイトバナー広告（収益事業）

お茶の総合情報サイトである公式ホームページ「O-CHA ネット」において、お茶関連事業者（当協会会員）の広告を掲載することによりホームページを充実させて需用者の便宜を図るとともに、当協会ホームページを中心にしたネットワークの構築をすすめた。

令和 2 年度事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項及び定款第 12 条に規定する事業報告附属明細書の作成にかかる事項はありません。

貸 借 対 照 表

令和 3年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	12,664,887	9,568,516	3,096,371
普通預金	12,664,887	9,568,516	3,096,371
スルガ銀行 静岡南支店 普通2173142	10,475,185	4,370,373	6,104,812
静岡銀行 駅南支店 普通763138	346,648	466,340	-119,692
ゆうちょ銀行 00860-3-166641	1,843,054	4,731,803	-2,888,749
未収金	1,997,447	1,635,880	361,567
前払金		29,820	-29,820
流動資産合計	14,662,334	11,234,216	3,428,118
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	386,995,140	387,500,146	-505,006
投資有価証券(指定)	386,995,140	387,500,146	-505,006
定期預金(基)	6,004,860	5,499,854	505,006
基本財産合計	393,000,000	393,000,000	
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,100,000	1,900,000	200,000
退職給付引当資産(一般)	2,100,000	1,900,000	200,000
特定費用準備金資産	1,500,000		1,500,000
特定資産合計	3,600,000	1,900,000	1,700,000
(3) その他固定資産			
固定資産合計	396,600,000	394,900,000	1,700,000
資産の部合計	411,262,334	406,134,216	5,128,118
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	3,627,527	3,274,124	353,403
前受金	447,800	330,000	117,800
預り金	264,202	144,875	119,327
送料	295	248	47
厚生年金預り	161,955	88,755	73,200
健康保険料預り	101,952	55,872	46,080
賞与引当金	990,000	1,000,000	-10,000
流動負債合計	5,329,529	4,748,999	580,530
2 固定負債			
退職給付引当金	2,100,000	1,900,000	200,000
固定負債合計	2,100,000	1,900,000	200,000
負債の部合計	7,429,529	6,648,999	780,530
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	200,000,000	200,000,000	
有価証券(財)	193,000,000	193,000,000	
指定正味財産合計	393,000,000	393,000,000	
(うち基本財産への充当額)	(393,000,000)	(393,000,000)	()
2 一般正味財産	10,832,805	6,485,217	4,347,588
正味財産の部合計	403,832,805	399,485,217	4,347,588
負債及び正味財産合計	411,262,334	406,134,216	5,128,118

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産の運用収入	6,840,560	6,840,457	103
特定資産運用益			
特定資産受取利息	18	16	2
受取会費			
会費収益	9,250,000	9,785,000	-535,000
事業収益			
受講料等収益	119,600	504,644	-385,044
情報誌発行収益	121,100	138,040	-16,940
出展負担金等収益		50	-50
世界緑茶コンテスト出品料	1,098,566	1,105,494	-6,928
世界緑茶コンテスト出品料	1,098,566	1,105,494	-6,928
パン広告収益	500,000	680,000	-180,000
受取補助金等			
補助金収益	5,429,000	5,429,000	
委託費収益	26,981,855	10,671,984	16,309,871
受取負担金		467,478	-467,478
受取寄付金			
受取寄付金	2,000,000	2,000,000	
雑収益			
受取利息	260	140	120
経常収益合計	52,340,959	37,622,303	14,718,656
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	4,242,000	4,242,000	
給料手当	18,442,925	9,247,340	9,195,585
臨時雇賃金	2,170,334	2,351,616	-181,282
退職給付費用	185,000		185,000
福利厚生費	4,147,619	3,385,108	762,511
旅費交通費	1,096,161	2,598,205	-1,502,044
通信運搬費	1,189,789	467,970	721,819
減価償却費		24,300	-24,300
消耗什器備品費	1,498,063	425,620	1,072,443
消耗品費	2,032,981	1,180,772	852,209
印刷製本費	200,661	983,472	-782,811
賃借料	4,289,788		4,289,788
保険料	30,320	29,820	500
諸謝金	956,849	3,264,404	-2,307,555
租税公課	24,000	13,000	11,000
支払負担金	376,734	376,634	100
委託費	1,967,350	6,047,876	-4,080,526
広告宣伝費	110,000		110,000
手数料	1,663,677	477,494	1,186,183
管理費			
役員報酬	750,000	750,000	
給料手当	830,000	867,000	-37,000
退職給付費用	15,000	200,000	-185,000
福利厚生費	455,179	326,683	128,496
会議費	7,600		7,600
旅費交通費	83,820	93,350	-9,530
通信運搬費	1,902	574	1,328

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
消耗品費	5,200	8,720	-3,520
印刷製本費	6,160	6,160	
光熱水料費	98,520	99,852	-1,332
賃借料	12,024	9,007	3,017
諸謝金	22,000		22,000
租税公課	2,950	2,250	700
支払負担金	150,000	150,000	
委託費	832,700	823,820	8,880
手数料	25,065	21,399	3,666
経常費用合計	47,922,371	38,474,446	9,447,925
評価損益等調整前当期経常増減額	4,418,588	-852,143	5,270,731
評価損益等計			
当期経常増減額	4,418,588	-852,143	5,270,731
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計			
(2) 経常外費用			
経常外費用合計			
当期経常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	4,418,588	-852,143	5,270,731
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	
当期一般正味財産増減額	4,347,588	-923,143	5,270,731
一般正味財産期首残高	6,485,217	7,408,360	-923,143
一般正味財産期末残高	10,832,805	6,485,217	4,347,588
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増加額			
指定正味財産期首残高	393,000,000	393,000,000	
指定正味財産期末残高	393,000,000	393,000,000	
Ⅲ 正味財産期末残高	403,832,805	399,485,217	4,347,588

公益財団法人世界緑茶協会 正味財産増減計算書の内訳表

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1)経常収益									
基本財産運用益	0	0	3,420,280	3,420,280	0	0	3,420,280	0	6,840,560
基本財産の運用収入			3,420,280	3,420,280			3,420,280		6,840,560
特定資産受取利息							18		18
特定資産受取利息							18		18
受取会費	0	0	9,250,000	9,250,000	0	0	0	0	9,250,000
会費収入			9,250,000	9,250,000					9,250,000
事業収益	240,700	1,098,566		1,339,266	500,000	500,000	0	0	1,839,266
受講料収入	119,600			119,600		0			119,600
情報誌発行収入	121,100			121,100		0			121,100
出展負担金等収入				0		0			0
世界緑茶コンテスト出品料		1,098,566		1,098,566		0			1,098,566
バナー広告収入				0	500,000	500,000			500,000
受取補助金等	2,423,255	29,987,600	0	32,410,855	0	0	0	0	32,410,855
委託費収入	2,423,255	24,558,600		26,981,855		0			26,981,855
補助金収入		5,429,000		5,429,000		0			5,429,000
助成金収入									0
受取負担金		0		0					0
受取寄付金	0	0	2,000,000	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000
茶取引安定協会特定寄附			2,000,000	2,000,000		0			2,000,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	260	0	260
受取利息				0		0	260		260
雑収益	0			0		0			0
経常収益計	2,663,955	31,086,166	14,670,280	48,420,401	500,000	500,000	3,420,558	0	52,340,959

公益財団法人世界緑茶協会 正味財産増減計算書の内訳表

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	小計			
(2)経常費用									
事業費	8,452,960	36,158,291	0	44,611,251	13,000	13,000		0	44,624,251
役員報酬	974,970	3,264,030		4,239,000	3,000	3,000			4,242,000
給料手当	2,026,350	16,412,575		18,438,925	4,000	4,000			18,442,925
臨時雇賃金	2,138,834	31,500		2,170,334		0			2,170,334
退職給付費用	55,000	130,000		185,000		0			185,000
福利厚生費	773,955	3,371,664		4,145,619	2,000	2,000			4,147,619
旅費交通費	105,260	990,901		1,096,161		0			1,096,161
通信運搬費	126,826	1,062,963		1,189,789		0			1,189,789
減価償却費				0		0			0
消耗什器備品費		1,498,063		1,498,063		0			1,498,063
消耗品費	543,896	1,489,085		2,032,981		0			2,032,981
修繕費				0		0			0
印刷製本費	16,793	183,868		200,661		0			200,661
光熱水料費				0		0			0
賃借料	282,700	4,007,088		4,289,788		0			4,289,788
保険料	29,820	500		30,320		0			30,320
諸謝金	239,869	716,980		956,849		0			956,849
租税公課	1,600	22,400		24,000		0			24,000
支払負担金		376,734		376,734		0			376,734
委託費	957,000	1,006,350		1,963,350	4,000	4,000			1,967,350
広告宣伝費	110,000			110,000		0			110,000
手数料	70,087	1,593,590		1,663,677		0			1,663,677
管理費							3,298,120	0	3,298,120
役員報酬							750,000		750,000
給料手当							830,000		830,000
退職給付金支出							15,000		15,000
福利厚生費							455,179		455,179
会議費							7,600		7,600
旅費交通費							83,820		83,820
通信運搬費							1,902		1,902
消耗什器備品費									0
消耗品費							5,200		5,200
減価償却費									0
印刷製本費							6,160		6,160
光熱水料費							98,520		98,520
賃借料							12,024		12,024
諸謝金							22,000		22,000
租税公課							2,950		2,950
支払負担金							150,000		150,000
委託費							832,700		832,700
手数料							25,065		25,065
雑費									
経常費用計	8,452,960	36,158,291	0	44,611,251	13,000	13,000	3,298,120	0	47,922,371

公益財団法人世界緑茶協会 正味財産増減計算書の内訳表

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	小計			
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,789,005	△ 5,072,125	14,670,280	3,809,150	487,000	487,000	122,438	0	4,418,588
基本財産評価損益等				0		0			0
特定資産評価損益等				0		0			0
投資有価証券評価損益等				0		0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,789,005	△ 5,072,125	14,670,280	3,809,150	487,000	487,000	122,438	0	4,418,588
2. 経常外増減の部									
(1)経常外収益									
中科目別記載				0		0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用									
中科目別記載				0			0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税、市民税及び事業税							71,000		71,000
他会計振替額			243,020	243,020	△ 243,020	△ 243,020			0
当期一般正味財産増減額	△ 5,789,005	△ 5,072,125	14,913,300	4,052,170	243,980	243,980	51,438	0	4,347,588
一般正味財産期首残高	△ 43,971,767	△ 61,988,641	114,154,637	8,194,229	2,390,337	2,390,337	△ 4,099,349	0	6,485,217
一般正味財産期末残高	△ 49,760,772	△ 67,060,766	129,067,937	12,246,399	2,634,317	2,634,317	△ 4,047,911	0	10,832,805
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
受取補助金等				0		0			0
一般正味財産への振替額				0		0			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			196,500,000	196,500,000		0	196,500,000		393,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	196,500,000	196,500,000	0	0	196,500,000	0	393,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 49,760,772	△ 67,060,766	325,567,937	208,746,399	2,634,317	2,634,317	192,452,089	0	403,832,805

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっている。

(2) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

職員の賞与金の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。

(3) リース取引の処理方法

・ファイナンス・リース取引

リース物件の所有者が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金				
定期預金	5,499,854	505,006		6,004,860
有価証券	387,500,146		505,006	386,995,140
小計	393,000,000	505,006	505,006	393,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	1,900,000	200,000		2,100,000
特定費用準備資金	0	1,500,000		1,500,000
小計	1,900,000	1,700,000		3,600,000
合計	394,900,000	2,205,006	505,006	396,600,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
定期預金	6,004,860	(6,004,860)		
有価証券	386,995,140	(386,995,140)		
小計	393,000,000	(393,000,000)		
特定資産				
退職給付引当資産	2,100,000			(2,100,000)
特定費用準備資金	1,500,000			(1,500,000)
小計	3,600,000			(3,600,000)
合計	396,600,000	(393,000,000)		(3,600,000)

特定資産の利息については一般収入に繰り入れるものとする。

4. 担保に供している資産

なし

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
11 30年国債	218,350,830	265,725,000	47,374,170
111 20年国債	168,644,310	188,544,000	19,899,690
合 計	386,995,140	454,269,000	67,273,860

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上の 記載区分
新・静岡茶グローバル戦略推進 事業費補助金	静岡県	0	5,429,000	5,429,000	0	一般正味財産
合 計		0	5,429,000	5,429,000	0	

7. 指定正味財産から一般財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般財産への振替額の内訳

当該事業年度末までに目的たる支出を行うことが予定されている補助金等を受け入れた場合には、その受入額を受取補助金等として一般正味財産増減の部に記載できることから、当公益法人は一般正味財産へ記載をしている。

8. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

属性	法人等の 名称	住所	資産総額	事業 の 内 容 ま た は 職 業	議決 権 の 所 有 割 合	関係内容		取引の内 容	取引金額	科目	期末残高
						役員 の 兼 務 等	事業 上 の 関 係				
支配 法人	静岡県	静岡市 葵区	—	地方 自治 体	—	理事1 名 監事1 名	業務 の 受 入 れ	補助金受入 受託金受入	5,429,000 26,981,855	補助金収入 委託費収入	0 0

9. ファイナンス・リース取引関係

(1) リース物件の取得価額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(単位:円)

	取得価額相当額	減価償却累計額相当額	期末残高相当額
什器備品	582,120	161,700	420,420

(2) 未経過リース料期末残高相当額

(単位:円)

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	194,040	226,380	420,420

(3) 当期の支払いリース料、減価償却費相当額及び支払い利息相当額

(単位:円)

支払リース料	減価償却費相当額	支払い利息相当額
161,700	161,700	0

(4) 減価償却費相当額の算定方法は、リース期間定額法によっている。

(5) 重要性の乏しい所有権移転外ファイナンス・リース取引に該当するため、リース料総額から利息相当額を控除しないで計上する方法を採用している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定財産の明細

財務諸表に対する注記の2に記載している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,000,000	990,000	1,000,000		990,000
退職引当金	1,900,000	200,000			2,100,000

財 産 目 録

令和 3年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金			12,664,887
	普通預金			12,664,887
	スルガ銀行 静岡南支店 普通2173142		運転資金として	10,475,185
	静岡銀行 駅南支店 普通763138		運転資金として	346,648
	ゆうちょ銀行 00860-3-166641		運転資金として	1,843,054
	未収金		補助金収入等	1,997,447
流動資産合計				14,662,334
(固定資産)	基本財産			
	投資有価証券			386,995,140
	投資有価証券(指定)		11 30年国債 218,350,830円 111 20年国債 168,644,310円	386,995,140
	定期預金(基)	スルガ銀行 静岡南支店 定期15561814		6,004,860
	退職給付引当資産	スルガ銀行 静岡南支店 普通2477718	職員の退職金の支払に備えたもの	2,100,000
	退職給付引当資産(一般)			2,100,000
その他固定資産	特定費用準備金資産	スルガ銀行 静岡南支店 普通3453573	世界緑茶会議開催準備資金	1,500,000
固定資産合計				396,600,000
資産合計				411,262,334
(流動負債)	未払金		委託費等	3,627,527
	前受金		R3年度会費等	447,800
	預り金			264,202
	送料		機関紙送料の預かり分	295
	厚生年金預り			161,955
	健康保険料預り			101,952
	賞与引当金		職員の賞与の支払に備えたもの	990,000
流動負債合計				5,329,529
(固定負債)				
	退職給付引当金		職員の退職金の支払に備えたもの	2,100,000
固定負債合計				2,100,000
負債合計				7,429,529
正味財産				403,832,805

監 査 報 告 書

公益財団法人世界緑茶協会
会長 川勝 平太 殿

令和 3 年 5 月 20 日

公益財団法人世界緑茶協会

監 事

志村信明 

公益財団法人世界緑茶協会

監 事

白鳥博己 

私たち監事は、当協会の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他会議に出席し、理事及び使用人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録等について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。